サイバーセキュリティ通信【R7-6】

令和7年5月
大分県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課

銀行から電話…はたして本物？企業の資産が危ない！

電話を利用する「ボイスフィッシング」被害が引き続き発生中

- 昨年より、ボイスフィッシング（ビッシング）による法人口座を狙った不正送金被害が継続して発生している
- 全国的に被害拡大しており、１社あたり数億円規模の被害も確認されている

企業の資産（法人口座）を狙う手口は？

1. 犯人が銀行関係者をかたり、企業に電話をかけ、自動音声ガイダンスを流す。
   音声に従い番号を押すと、犯人に切り替わる（始めから犯人が電話することも）
2. メールアドレスを聴取し、フィッシングメールを送信。メール記載のリンクから偽サイトに誘導し、インターネットバンキングのアカウント情報等を入力させる
3. 犯人はアカウント情報等を利用し、法人口座から資産を不正送金する

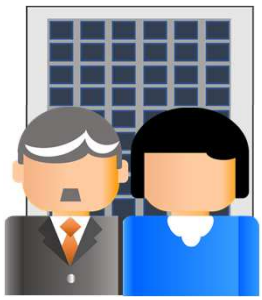
※架電イメージ

犯人

①電話（自動音声）
○○銀行です。ネットバンクの顧客情報の更新手続きが必要です。■番を押してください

②自動音声に従い番号押下

③電話（犯人の声）
顧客情報の更新用リンクを送るので、メールアドレスを教えてください



被害企業
担当者

どう見分ける？こんな電話は偽物の可能性大！

- 発信元番号が国際電話（+(国番号)）、または非通知となっている
- 自動音声ガイダンスが流れたのち、人間の声に切り替わる
- 通話中にメールアドレスを聴取され、リンク付きメールが送られる

社内で徹底！被害を防ぐために

◆ **銀行から電話があれば、本物かどうか確認する**
上記に該当する特徴がみられた場合はいちど切電し、営業店・代表電話に確認してください

◆ **メールに記載されているリンクからアクセスしない**
インターネットバンキング利用時は、銀行公式サイト・アプリからアクセスしてください

もしも、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 → https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html

大分県警察 Oita Prefectural Police

警察庁 National Police Agency